

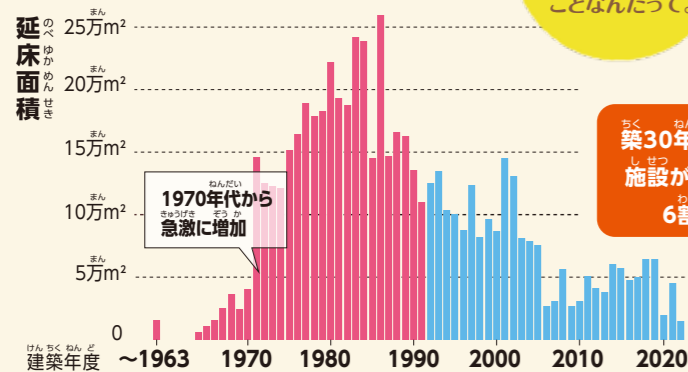
# 公共施設マネジメントの取り組み

将来世代に過度な負担を残さない、持続可能なおサイフにするための取り組みを紹介します。

## Q.公共施設マネジメントは、なぜ必要なの？

**A1** これまで建設された公共施設が古くなっている

### 公共施設の築年別整備状況



古くなった公共施設の問題は、全国的なことなんだって。

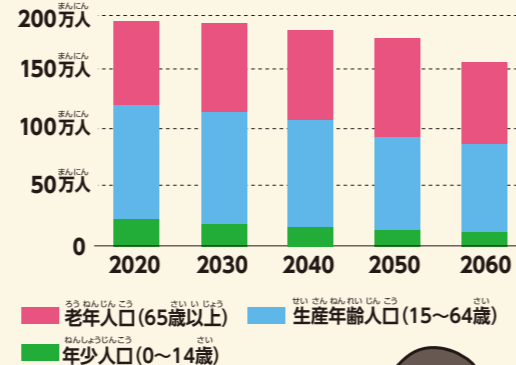
築30年以上の施設が全体の6割超

公共施設には、学校などの建物や、道路、橋、公園などがあるよ。



**A2** 札幌市も人口減少と少子高齢化が進む

### 札幌の将来の人口を見てみよう



これから人が減ったときに少ない人数で今の規模の施設を維持するのは大変だよ。

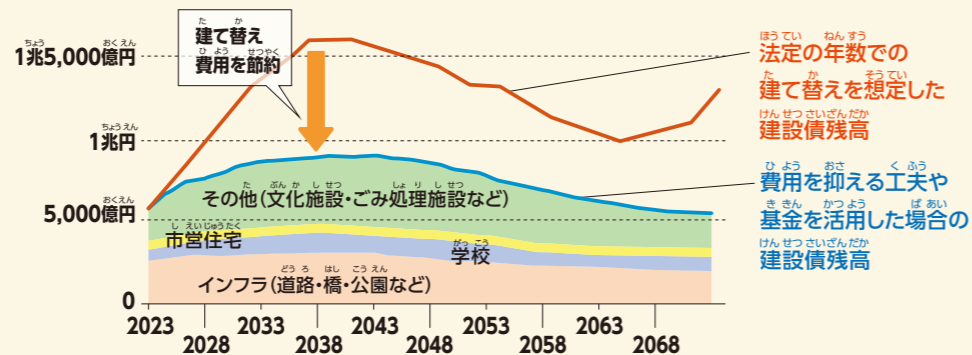
## だから計画的に、より使いやすく、公共施設を考える。

公共施設マネジメントでは、以下のことに取り組みます。

- ① 施設が壊れて使えなくなる前に、しっかりと手入れをして長く使います。【長寿命化】
- ② 施設の建て替え時期を分散させて、支出時期のかたよりを減らします。【平準化】
- ③ 必要な機能を維持しながら、施設を一つにまとめたり、便利な場所に集めたりします。【総量規模の適正化と機能維持】



### 建設債残高の見通し



計画的な建て替えをすると、かなり節約ができそうだね。

# 歩いて暮らせるまちづくり

身近な地域に必要な機能は、歩いて行ける小学校などにまとめていくよ。

広い範囲で市民の生活を支える機能は、主要な駅周辺などの行きやすい場所に集めるよ。

身近な地域  
徒歩圏内の小学校区  
小学校などの多機能化

主要な駅周辺  
公共交通などで行きやすい場所  
生活を支える高度な機能の集約化



小学校のまわりなら、みんなが歩いて行けて便利だね。



みんなが行きやすい場所に集める、ということがポイントだね!

公共施設の老朽化は、全国的にも問題になっていて、いろいろな取り組みが行われているんだ。札幌市もそれぞれの地域のことを考えながら、持続可能なまちづくりを進めていくよ。

